

令和7年4月1日号広報ちはら台へ掲載しました

抗菌薬が効かなくなる!? ～抗菌薬は正しく使用しましょう～

千葉ろうさい病院
感染管理認定看護師 黒田 幸代

4月は寒暖差や生活環境の変化によって体調が崩れ、病院を受診する機会も多くなるのではないのでしょうか。そのような体調不良の中には、細菌を原因とする感染症があり抗菌薬の治療が必要になります。しかし、正しく使用しないと将来その抗菌薬が効かなくなることがあります。

薬剤耐性という言葉を目にしたことはありますか？抗菌薬は、細菌を殺したり増殖を抑制する薬で、様々な感染症の治療に使用されています。しかし、処方された抗菌薬の服用を途中でやめてしまったり、以前に処方された抗菌薬や他人からもらった抗菌薬を自己判断で服用することによって、体内にいる細菌がその抗菌薬への耐性を持つ可能性が高くなります。これを「薬剤耐性」といいます。薬剤耐性が増えると、これまで抗菌薬を飲めば治っていた感染症が治りにくくなり、他の病気の治療にも影響がでることがあります。現在、薬剤耐性によって世界で年間70万人が死亡しています。この死亡者数は、対策を何も講じなければ、2050年には1000万人に上り、がんによる死亡者数を上回ると予測されています。

薬剤耐性を防ぐためには、日頃から手洗い・うがいを行い、十分な栄養と睡眠をとり免疫力を高め、抗菌薬を使わないように予防することが大切です。それでも、抗菌薬の使用が必要になった場合には、医師の指示通りに用法・用量・服用期間を守って、正しく使用しましょう。

抗菌薬が効かなくなる!?
～抗菌薬は正しく使用しましょう～

千葉ろうさい病院
感染管理認定看護師 黒田 幸代

4月は寒暖差や生活環境の変化によって体調が崩れ、病院を受診する機会も多くなるのではないのでしょうか。そのような体調不良の中には、細菌を原因とする感染症があり抗菌薬の治療が必要になります。しかし、正しく使用しないと将来その抗菌薬が効かなくなることがあります。

薬剤耐性という言葉を目にしたことはありますか？抗菌薬は、細菌を殺したり増殖を抑制する薬で、様々な感染症の治療に使用されています。しかし、処方された抗菌薬の服用を途中でやめてしまったり、以前に処方された抗菌薬や他人からもらった抗菌薬を自己判断で服用することによって、体内にいる細菌がその抗菌薬への耐性を持つ可能性が高くなります。これを「薬剤耐性」といいます。薬剤耐性が増えると、これまで抗菌薬を飲めば治っていた感染症が治りにくくなり、他の病気の治療にも影響がでることがあります。現在、薬剤耐性によって世界で年間70万人が死亡しています。この死亡者数は、対策を何も講じなければ、2050年には1000万人に上り、がんによる死亡者数を上回ると予測されています。

薬剤耐性を防ぐためには、日頃から手洗い・うがいを行い、十分な栄養と睡眠をとり免疫力を高め、抗菌薬を使わないように予防することが大切です。それでも、抗菌薬の使用が必要になった場合には、医師の指示通りに用法・用量・服用期間を守って、正しく使用しましょう。

でも、抗菌薬の使用が
必要になった場合は、
医師の指示通りに用法・
用量・服用期間を守っ
て、正しく使用しまし
ょう。

ろうさい病院無料送迎バス

通院に便利な無料バスを
運行しております。(ろう
さい病院で乗車され
る方に限ります)

詳細は、ちはら台自治会連合会のホ
ームページをご覧ください。

自由会HP

